

## 第二夜「06-喫茶店・其弐」

喫茶店は日本のコーヒー文化の要です。コーヒーとお客様を繋ぐ貴重な架け橋であり、もう随分前から、サードプレイスという場所が日本には既にあったことを気付かせてくれます。しかも基準がマニュアル化され、多少のアレンジも想定内のように感じるコーヒーショップチェーンに対して、歴史と心を軸として続く珈琲店のサービスは次元が異なります。誰もが友人であり、知人であり、パートナーであるから、コーヒーの味も希望に沿い、疲れて微睡む(まどろむ)背には毛布やコートをかけ、目覚めには飛び切りの一杯をさりげなく差し出す。

相当昔の青年も、少し前の青年も、そして今の青年も、等しく親しんだ場所が健在なことを幸せに思い、「喫茶店・其弐」をお届けします。喫茶店では前後しますが、「喫茶店 其弐」も準備中です。多少の時代背景は違うものの、その心についてはあまり変わりがないと思っています。

またすぐにお聴きいただけるよう YouTube アドレスを記載しました。各 Official ページ以外は網掛け文字の表記です。



### ・01-「マスターの珈琲」 空気公団

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : その他のチャンネル )
1	マスターの珈琲	空気公団	

まず、素晴らしい楽曲と巡り合えたことに感謝しています。この詩には素直に感動しました。

「よその風に吹かれてしまったと いうのが精一杯」、で始まる歌詞。もうこれだけで温かい珈琲を黙って出してあげたい。そして最後に「簡単にかかないことぐらい 知ってたつもりよ」。心構えをいとも容易く打ちのめす現実に、抗う術もない。今は珈琲一杯に縋るだけ。こうした経験は誰しもあるのでしょうか、本当に喫茶店っていいなあ、と思える一曲です。

作詞・作曲は空気公団リーダーの山崎ゆかり、この歌詞と曲の奥深さに脱帽です。空気公団には他にもコーヒーを謳う楽曲が多いのですが、喫茶店については、同じアルバム「ダブル」にある「知らない街へ行こう」も お勧めです。本当に彼女は珈琲好きだなあと、嬉しくなります。空気公団の現在は山崎のソロプロジェクトです。

### ・02-「ドアをノックするのは誰だ？」 小沢健二

2	ドアをノックするのは誰だ？	小沢健二	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=85ssVUrmjPA">https://www.youtube.com/watch?v=85ssVUrmjPA</a>
---	---------------	------	---

少し前の曲ですが、1998 年のアルバム LIFE から選びました。彼特有のリズミカルで明るい楽曲です。昨年の東京五輪の頃でしょうか、話題を集めた出身校問題がありました。在学中にある生徒の犯した許せない行為の責任を学校に求めること、監督責任という言葉が歩き出し、非難が高まることにもなるのですが、中学生でも善悪の判断力があり、高校生といえばほぼ大人の人格です。個人に責を求めるべきではないかと考えていました。

歌詞には「立ち寄った喫茶店で 思い切り恋に落ちた！」と歌われるのですが、これぞ喫茶店マジック、珈琲の魔力です。悔れない喫茶店の存在を改めて認識させていただきました。「君の心の扉を叩くのはいつも僕さ」が決めセリフかな。

### ・03-「幸せになりたい」 Dear

3	幸せになりたい。	Dear Feat. CLIFF EDGE	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=4_GLF7uvubg">https://www.youtube.com/watch?v=4_GLF7uvubg</a>
---	----------	-----------------------	---

今回の無謀な企てがなければ多分知ることがなかったアーティストの曲です。2012 年のアルバムですがこの曲名に引き寄せられました。生まれたことも、生きてゆくことも、目的は「幸せ」になること。なりたいた望むことは人として当然です。しかし難しいときも苦しい時もある人生。真剣に生き、悩む二人の舞台が喫茶店です。「いざ目合わせるとなにも言い出せ

ず」ではあっても今はかけがえのない時間。喫茶店に包み込まれる心がここにもあります。

何度も繰り返えされる「幸せになりたい この想い叶えたい 前に進みたい これからもずっと」。Dear の歌声も、ラブの CLIFF EDGE の声も、真剣さが正面から届いてきます。この曲を知って良かったと思います。

#### ・04-「雨のマーチ」 フジファブリック

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : その他のチャンネル )
4	雨のマーチ	フジファブリック	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=RVj6b8ezZ6U">https://www.youtube.com/watch?v=RVj6b8ezZ6U</a>

初期のバンドリーダーである志村正彦の作詞・作曲です。惜しむらくは彼が 2009 年 12 月 24 日に逝去されたこと。この年は忌野清志郎が 5 月 2 日に、加藤和彦が 10 月 30 日に、そして彼と、大切なミュージシャンが去りました。志村は若干 29 歳、不整脈による過労死が疑われますが、命を削って生み出した彼の楽曲の数々は遺されました。この曲も彼の一見朴訥とも思える言葉の一つ一つに耳を傾けると、暖かくて優しく個性的な歌声に心が癒されます。

私の雨音の思い出は小学生のころ、近所の銭湯が廃業するため急ごしらえの風呂場で聴いた雨の音です。トタン屋根を叩く雨音の調べにいつも長湯になり、怒られたことが何度もあります。上州の雷は凄まじい。

フジファブリックの代表曲とされる「若者のすべて」のリリースは彼の死の 2 年前。自問自答するような言葉のリフレインが胸に迫ります。この曲は今までに 10 人近くの歌手にカバーされている名曲です。

#### ・05-「地元。」 Land Cell.

5	地元。	Land Cell.	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=iO4oj2587PI">https://www.youtube.com/watch?v=iO4oj2587PI</a>
---	-----	------------	---

愉快・豪快・爽快と褒め称えたい一曲です。1st Single ですが、地元愛、その愛の深さが 60 行を越える歌詞に溢れている。思わず、行け！行け！と応援していました。地元や田舎が豊かなら、そこに若い人が残り、家族が集まり、現在の家庭を取り巻く問題の多くに、解決の糸口が見つかるかも知れない。

「フルーツはたなか コーヒーは田中」と歌われているのは「コーヒーの田中（看板は珈琲の田中・都城市西町）」で実在する人気店です。どこの町にもあるべき風景ですが、一時代を築いたファミリーレストランは、消費者ニーズの変化と今回のコロナ禍の余波で閉店が相次ぎます。でも地元店はそこから逃げないで頑張る。良くも悪しくもここが地元。自分たちのフィールドだから。

#### ・06-「C・O・F・F・E・E・E」 Drop's

6	C・O・F・F・E・E・E	Drop's	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=nA3Gue-vXic">https://www.youtube.com/watch?v=nA3Gue-vXic</a>
---	---------------	--------	---

中野ミホのパワフルな歌唱が際立つ曲です。最初に面白いと思ったのが曲名でした。コーヒーを飲んだ時の反応の多くが、熱い、温い、苦い、美味しい、香りがいい、と並ぶ形容詞ですが、一言伸ばして「C・O・F・F・E・E・E！」。「味なんか 本当はちっとも わからない C・O・F・F・E・E・E」との歌詞も、「クラシックに飽きたなら 飲みまして コーヒー さあ どこへ行こうか」と続き、最後は「いつも こんなのが E・E・E あなたと散歩とコーヒー」。本当にコーヒーが好きだと伝わる内容です。まっくろいコーヒーのカップはまんまるの闇だけではなく、時には月を浮かべて愛でることもできる。そんな詩も別の機会に紹介できればと思います。

#### ・07-「胸いっぱい」 サニーデイ・サービス

7	胸いっぱい	サニーデイ・サービス	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=SGblAbTMIy0">https://www.youtube.com/watch?v=SGblAbTMIy0</a>
---	-------	------------	---

インディーズ時代からエネルギッシュに突っ走る曽我部恵一の最初のバンドがサニーデイ・サービスです。彼は作詞作曲にギターにボーカルを担当、2000 年 12 月に解散しました。その年の 9 月にリリースされた胸いっぱいの歌詞には「そのあとふたりでちょっとお茶をしよう 一度行ったことのある喫茶店に もう一度だけ」とあり、別れに際した男心の揺らぎや弱さ

が影を落とします。また他の見方をすれば、「胸いっぱいの思い出を 抱えたその両手に傷」から始まる詩が、解散へと向かうメンバーの思いと言えなくもない。3 回リフレインが繰り返され、詩の中の半分を占めます。

2008 年に再結成されたサニーデイ・サービスのメンバー、田中貴（ベース担当でラーメン愛好家）のこんなインタビューがあります。「音楽の場所がライブハウスからカフェに変わってきている気がする」。「特に今は、ライブができるお洒落なカフェが、地方にどんどん増えている」。[サニーデイ・サービスという居場所と「地方の時代」 | 文春オンライン \(bunshun.jp\)](http://www.bunshun.jp)

### ・08-「SUNDAY」 Age Factory

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : その他のチャンネル )
8	SUNDAY	Age Factory	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=MdLQFKm4hWU">https://www.youtube.com/watch?v=MdLQFKm4hWU</a>

ボクサーのように精悍な面構えと、ちょっとハスキーでパワフルだけど優しい声。SUNDY は 2017 年 7 月リリースのミニアルバムの一曲ですが、SUNDY での清水エイスケの歌には飾りがない。まっすぐに思いを押し出し、藪漕ぎのようにかき分けて どんどん進んで行く。「上着なんてなんでもいいと思うよ」、「自転車に乗って行こうよ あの人の店へ行こうよ お気に入りの珈琲屋にでも寄って」と押しの一手段。

体力があるうちはまだしも、体力が落ち始めるとたんに藪は抵抗し、反発し、押し掛かるように攻め込んでくる。乗り越えた人間だけに許さる「自転車に乗って行こうよ このままだこまでも このままで」。汗まみれで息も絶え絶え、体が傷だらけになっても、越えられた時の充実感と達成感はずいぶん愛おしい。ボクサーの心理かも知れません。

### ・09-「私に彼氏ができない理由」 あいみょん

9	私に彼氏ができない理由	あいみょん	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=vwg7GcB62X4">https://www.youtube.com/watch?v=vwg7GcB62X4</a>
---	-------------	-------	---

これだけ豊かな感性と表現力の持ち主がモテないわけではないでしょう。しかし愉快で、失礼な言い方ですが爽快な楽曲です。今更ですが溢れる才能を感じます。聞きながらついつい笑顔になるのは、時として語られる自己反省（内省）にあるかも知れない。「彼氏ができない理由は 極度の人見知りと 好きな人に気づかない鈍感さからな」。あるいは「理想の高さと 夢見がちな恋愛に憧れてるからかな?」。それはきっと誰しも同じでしょう。あなただけではありません。

「街に出れば 溢れてるカップル いきつけの喫茶店は予約でいっぱい 幸せそうな顔に口が曲がる」と嫌悪感を見せながらも、「うらやましいな 楽しいんだろうな でも逃げ出したいな この空間は少し照れくさい」。

最後に一言ある「そうかな」の歌詞が効いています。一見僻みっぽい詩でも、彼女のマジックで微笑みに結び付ける、やはり彼女はタダモノではない。

### ・10-「向日葵の 12 月」 Base Ball Bear

10	向日葵の 12 月	Base Ball Bear	
----	-----------	----------------	--

このバンドのことはあまり知りませんでした。浦和出身ということと、メンバーの関根史織が 2005 年公開の映画「リンド リンダ リンダ」に出演していたことも今回知りました。この映画は一度 GYAO! で見て、ヒヤヒヤ・ハラハラだった記憶が残っています。その撮影場所が前工（前橋工業高校）の校舎と知って小さな驚きもありました。Base Ball Bear は 2021 年で結成 20 年、経験と実力を備えたバンドですが、この「向日葵の 12 月」は映画「リンド リンダ リンダ」の封切と同じ 2005 年のアルバム「High Color times」の曲で、映画の演奏さながらにパワフルな曲です。詩で特徴的なのが、やや難解ですが接続詞を廃した表現でしょうか、ここにパワーの源があるようです。

喫茶店は「平仮名で書く 喫茶店は真昼 思い出話」で登場。ひらがな名の喫茶店も確かにたくさんありました。中頃には「モーゼよろしく・・・」と 1956 年の映画「十戒」のクライマックスシーンが登場します。紅海が左右に割れる有名なシーンですが、詩では「女学生徒の群れ、割れ」と続きます。スペクタクル！

## 11-「チョコレート」 藍坊主

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : その他のチャンネル )
11	チョコレート	藍坊主	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=vF_sBW_8rJs">https://www.youtube.com/watch?v=vF_sBW_8rJs</a>

小田原出身のロックバンドで 2000 年からは藍坊主として活動。作詞作曲は藤森真一。彼ともう一人作詞作曲を手掛ける佐々木健太はコーヒーにかかわる曲が多く、今回は 4 曲ほど登場する予定。このチョコレートは 2014 年のアルバム「ココノ」の 1 曲で、若い男女の機微を丁寧に拾っています。「チョコレートが嫌い」な理由は「舌先で溶けてしまう言葉みたい」。二の句が継げません。「昼下がりの喫茶店 煙草を燻らせてる僕は コーヒーに写ってる表情にハッとした」。その表情が僕の顔でも彼女の顔でも、通い合えないその瞬間を垣間見てしまった苦い思い出。誰にもありそうでいて、しかし気付かないで過ぎてしまうこうしたシーンが、山あり谷ありの人生を彩っているのかも知れない。コーヒーは人を写す鏡のようなもの、と思わず納得の 1 曲でした。見事。

## ・12-「no Reason」 YUI

12	no Reason	YUI	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=r8YrjEhxado">https://www.youtube.com/watch?v=r8YrjEhxado</a>
----	-----------	-----	---

この 2011 年 11 月のアルバム「HOW CRAZY YOUR LOVE」の後に、YUI としての活動をいったん終えた彼女。偶然 GYAO! で見た 2006 年 6 月公開の映画「タイヨウのうた」の印象から、もう映画はないだろうという予感は当たったようです。アコースティックギターで、夜だけの路上ライブを行う女の子の設定。福岡天神地下街から始まる彼女の路上ライブと人気を利用したように思えて、苦い気持ちもありました。劇中の主題歌や挿入歌は、役名である YUI for 雨音薫名義でクレジットされています。

しかし 2 年後に「FLOWER FLOWER」のボーカル yui として再活動する中で、特に印象的だったのは、2014、2015 年公開の映画「リトルフォレスト」で四季の各シーズンに合わせて 4 曲の主題歌を提供したこと。橋本愛の主演ですが一見体当たりとも思えるその演技が素晴らしかった。俳優としては余程の覚悟を持って立ち向かったのだと思います。何回も視聴しましたが、昔の記憶にも繋がり懐かしさを覚えました。田の草取りの辛さも知っているし、昔の田舎暮らしでは、季節の野草やタケノコやキノコなどの自然の恵みを食するのは日常のことでした。

2020 年から YUI としてのソロ活動を再開したのですが、彼女の芯の強さとぶれない曲作りに注目しています。

## ・13-「午後の珈琲」 浪漫革命

13	午後の珈琲	浪漫革命	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=xiapvtIiipU">https://www.youtube.com/watch?v=xiapvtIiipU</a>
----	-------	------	---

京都発祥の 6 人組バンド浪漫革命。2019 年 3 月発売のファーストアルバム「NEW ISLAND ROMANCE」に収められた一曲です。「午後の晴れた日は いつもの喫茶店で さあ 珈琲 を飲もうよ」、と繰り返される歌詞に、美しい曲が重なります。

確認するような、念を押すようなつぶやきは「こんな感じでいいだろう」や「このままでいこうよ」だったりしますが、答えは「ぐっと刺さる言葉」かも知れない。応えを欲しくて珈琲に誘う、晴れた午後の日常が見えるようです。コーヒーコミュニケーションは世界共通。もちろん日本全国でも。コーヒーのある日常が、楽しく生きる糧になればいいですね。

ところで私のコーヒータイムですが、朝は ARABIA の大ぶりのマグカップでたっぷり飲み（時にお代わりも）、あとは昼食後に飲んでというパターンですが、この「午後の珈琲」は盲点でした。どうしようかなあ。

## ・14-「あまり行かない喫茶店で」 never young beach

14	あまり行かない喫茶店で	never young beach	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=62R6acSJZ3M&amp;list=RD62R6acSJZ3M&amp;start_radio=1">https://www.youtube.com/watch?v=62R6acSJZ3M&amp;list=RD62R6acSJZ3M&amp;start_radio=1</a>
----	-------------	-------------------	---

2015 年 5 月リリースのデビューアルバム「YASHINOKI HOUSE」からの 1 曲。翌 6 月にはシングルカットされています。バンド結成が 2014 年春ですから、1 年余りでのメジャーデビューは大変順調なスタートです。

店の前を通るものの、入ったことは数えるほどしかない喫茶店が舞台。「飲めない珈琲 飲み干して僕は 大人になった気分であるんだ」。飲めないコーヒーを飲み干すことが元服の儀式だったら、避けて通れない苦い経験の一つになりそうですが、今はコーヒービバレージの種類も豊富です。ラテやカプチーノが認めてもらえれば、の話ですが。

詩の最後がマイホームパパ然となっているのがなんと微笑ましい。幸せのカタチが大きく変わることはない未来がいつまでも続いて欲しいものです。作詞作曲は阿部勇磨、有名俳優が兄とのことですが、自分は自分。

### ・15-「喫茶店」 東郷晶子

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : その他のチャンネル )
15	喫茶店	東郷晶子	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=UmE78t3L52w">https://www.youtube.com/watch?v=UmE78t3L52w</a>

出身が鹿児島県喜界島と聞きましたが、その島の出身と知った初めてのアーティストではないかと思います。4歳から地元の喜界教会でピアノを習い、讃美歌を歌うことも。中学時代にジャズシンガーの大御所、エラ・フィッツジェラルドのCDを聴いて「心地よい感覚を覚えた」と語るインタビューがあります。喜界島ナビ.comより。凄い感性です。

<http://kikaijimanavi.com/simanchu/simanchu/tougou.php>

歌詞では「時代遅れの 小さな喫茶店」が琥珀色のオアシスであり、「スパゲッティとブレンドコーヒー ちっちゃな銀のミルクピッチャー」が登場しますが、喫茶店のナポリタンは私も好きです。このかわいいミルクピッチャーは結構無くなる困りもの、といった話をどこかで聞いたような。「ほろ苦く Jazz が流れてたら もうそれだけで」。これはもう喫茶店の王道です。

### ・16-「バンドを組もうよ」 BEGIN

16	バンドを組もうよ	BEGIN	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=HmLRgpm-XVE">https://www.youtube.com/watch?v=HmLRgpm-XVE</a>
----	----------	-------	---

BEGIN の歌は、島の伸びやかな時が流れているようなそのリズムが、本当に心地良い。

2018年8月のアルバム「Potluck Songs」の収録曲ですが、NHK ラジオ深夜便「深夜便のうた」でもあり、ズバリ歌詞にも「深夜のラジオで 呼びかけて欲しい」というフレーズが登場。

人生には家族の存在が力になりますが、やがて子は巣立ち、親父は時間を持て余す。ここで昔の友と「バンドを組もうよ」となるのですが、熱い語らいは深夜の「喫茶プレーメン」に集まって。プレーメンはグリム童話のプレーメンの音楽隊で有名なドイツ北部にある都市。ドイツと言えば焙煎機の Probat やコーヒー器具のメリタがありますが、ドイツコーヒーも有名。ジャーマンブレンドは多くの喫茶店にあったと記憶していますが、そのドイツのカフェ市場の視察から誕生したのがドートルコーヒーショップ。日本を代表するブランドになりました。生みの親に当たる永嶋万洲彦先生には、カフェグッズも創業時に大変お世話になりました。

### ・17-「Walkin' in the rain」 Sweep

17	Walkin' in the rain	Sweep	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=I7AznpOxq2M">https://www.youtube.com/watch?v=I7AznpOxq2M</a>
----	---------------------	-------	---

バスケットボール由来の名をもつ Sweep。横浜出身のシンガーです。この曲は 3rd シングルとして 2007 年に発売され、10月から12月のTV東京「開運なんでも鑑定団」のエンディングテーマに使われました。その後2009年のファーストアルバム「I'm READY」に収録されています。「喫茶店のドアを開け」から始まる歌詞は、「未だ見ぬ明日を目指して いつまでも心に差した傘畳んで いつか前を向いて歩けますように」と願いとも祈りとも取れるフレーズが繰り返されます。しかしシャープなリズムと豊かな声は決して失われていません。

誰もが悩み苦しみながら明日を目指すのですが、それは人の節理とでもいうべきもの。逃げないで立ち向かわなければ、明日のドアは決して開かない。いい曲です。

## ・18-「エリカ」 KOKIA

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : その他のチャンネル )
18	エリカ	KOKIA	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=NffQZyOUr4Y">https://www.youtube.com/watch?v=NffQZyOUr4Y</a>

1999年のファーストアルバム「songbird」から一曲。こんな友情が育まれる学生時代という大切な時間があります。「毎日会えるのに電話をしたり 何時間もいつもの喫茶店で 話した夢のこと忘れないで。"コーヒー一杯で何時間も" という歌詞にはいくつも出会ったのですが、それは若い方々だって同じこと。喫茶店の魅力の一つですが、常連さんは混む時間は遠慮するもの。「私が私らしくられるのも 沢山の友達とあなたがいてくれるから ねえエリカ」。

彼女は音大音楽コース出身の数少ないシンガーソングライターです。エピソードも豊富な彼女、エクアドル産のバナナに目が無いとか。エクアドルはコーヒー豆の産地でもあり、バナナをシェードツリーとして活用しています。

## ・19-「& Life」 Unlimited Tone

19	& Life	Unlimited Tone	
----	--------	----------------	--

2007年に結成された男性4人（現在は3人）で活動するグループ。この曲は2016年発売の4th ミニアルバム「& Life」に収録されています。

スピーディーな曲進行に青春の思いが綴られた歌詞がいいです。「君と生きていたいんだ & Life」だったり、「ひとりにはしないよ & Life」だったり、なかなかストレートには伝えられない言葉が続きます。ここでいう「& Life」は、君と一緒に生活への憧れを素直に歌っているのでしょう。

「天神からすぐのあの喫茶店」が「珈琲舎のだ」かな、と勝手に思ったりもしました。

そしてあこがれのマイホーム生活のような、喜びがあふれたラストの歌詞に辿り着きます。「小さな家を買って 何てことのない 絵を飾って 何てことのない レコードをかけて 部屋にはピンクの ペンキを塗って 庭には犬を 走らせよう」。

戸建てマイホームの夢、いまだ健在です。

## ・20-「小笠原珈琲のうた」 寺尾紗穂

20	小笠原珈琲のうた	寺尾紗穂	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=zEgm5bT5Qck">https://www.youtube.com/watch?v=zEgm5bT5Qck</a>
----	----------	------	---

寺尾紗穂はコーヒーとの深い関係性が知られています。この小笠原珈琲の歌は彼女の EP「珈琲」の中の一曲で、小笠原でコーヒー栽培がおこなわれていることを知りました。

国内のコーヒー栽培ですが、農園としては2度ほど訪問したことのある沖縄の又吉コーヒー園などがあります。少し規模が大きいハウス栽培では長崎・大村のスコーコーヒーパークが有名です。他にも自家焙煎店でハウス栽培をしている例（千葉の遠山珈琲など）もあります。もし本格的なコーヒー栽培を目指すとなれば、温暖化によるコーヒーベルトの北上があるとしても、台風や霜害などが避けられない日本では少し厳しいかなと思っていました。

しかし実際に徳之島では、沖縄同様に長くコーヒー栽培に取り組む方がおられます。さらに2017年頃からAGFや丸紅の協力のもと、自治体を含む組織的なコーヒー栽培が始まっています。2023年には生豆1トンの収穫が目標とのこと。既に台風の被害も経験し、防風林の設置や適性品種の育成を進めているようです。コーヒーノキは5年樹から実を結び収穫が可能なのですが、まだまだ収量は僅かです。先行投資と自然との闘いという厳しい環境の中で、何とか成功して欲しいと思います。そしてAGFによる徳之島コーヒーの限定販売が始まることを楽しみにしています。

奄美新聞に以下の記事がありますので是非ご参照ください。

**奄美新聞社 2021.12.02**

2年後「徳之島コーヒーブランド」発信へ <https://amamishimbun.co.jp/2021/12/02/35033/>

話を戻しますが、寺尾紗穂には奥山義人氏の版画でコーヒーの歴史を伝える、「版画珈琲物語」のオリジナルサウンドトラックがあります。小笠原珈琲のインストから始まり、最後の「かふえの幕開け」まで、ピアノ演奏曲ですので BGM としてもお勧めです。この奥山氏の父奥山儀八郎氏と、吉祥寺「もか珈琲店」標交紀氏の出会いなど、まさに日本のコーヒー史の 1 ページです。標氏のコーヒーに魅了され、憧れてその道を辿る多くの珈琲人がいます。

### ・21-「喫茶ボンボン」 世田谷ピンポンズ

### ・22-「ハイライト」 世田谷ピンポンズ

No	曲名	歌手	YouTube ( 正規チャンネル : その他のチャンネル )
21	喫茶ボンボン	世田谷ピンポンズ	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=ILmJKAI42Wg">https://www.youtube.com/watch?v=ILmJKAI42Wg</a>
22	ハイライト	世田谷ピンポンズ	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=-p0by269kMs">https://www.youtube.com/watch?v=-p0by269kMs</a>

喫茶店のコンセプトアルバムである「喫茶品品 (きっさびんぼん)」からの 2 曲です。基本はギターフォークですが、彼の歌にはおやじ族を顔かせるペーソスがあります。「そうそう！ あった あった！」と同感したあなたはおやじ世代かな。このアルバム以外にもコーヒーに関する曲が盛りたくさんですが、まずこの 2 曲に触れてあなたも「品品族」になってください。

「喫茶ボンボン」では、「苦い珈琲は皆栄養」と歌われますが、確かに心の栄養効果は認めたい。「甘いは俺の考え方」、「若者の常なりや」で終わります。コーヒーに学ぶ姿勢とも思える歌詞にエールを送りました。

「ハイライト」では、喫茶店のお決まりの席で後悔にむせながら、「珈琲もう一杯」と歌います。ラストには「あれは僕の生まれて初めての後悔 あれは僕のハイライト 消し去りたいくらいの」と歌い、「珈琲もう一杯」。彼の歌を聴くと、彼の精神は珈琲でできているのかなと感じます。

「僕は持て余した大きなそれを、」という彼のアルバムから「ルノアール」を聴いたときに、思い出したことがありました。営業で移動中、アポイントまでの時間つぶしで喫茶店「銀座ルノアール」に入ったとき、高いコーヒー一杯の後に昆布茶がサービスされたのです。やんわり時間ですよ！という意味があったのかも知れないのですが、サービスと受け止めて感謝し、その後の営業には力が入りました。小さな優しさや感動に触れると、心が連鎖するのも知れない。きっと世田谷ピンポンズもそんな想いで、頑張っているのではないかな。応援しています。

### ・23-「街角のコーヒーボーイ」 MIKKO

23	街角のコーヒーボーイ	MIKKO	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=WWWhjWNhXi0">https://www.youtube.com/watch?v=WWWhjWNhXi0</a>
----	------------	-------	---

COFFEEBOY のことを知ったのは、西日本にいくつかあるうちの一店を訪問したことがあったからです。UCC の商談相手の方から、先輩がいますと教えていただいた記憶があります。情報交換や共同仕入れのグループといった感じのボランティア・チェーンと認識していました。

徳山コーヒーボーイとの取引を始めさせていただいた頃の認識も、まだその延長線上でした。ところが河内山社長を知って付き合い始めると、コーヒーへの姿勢や考え方が独創的で、珈琲も人生も、社員やお客様そして地域にお魚さん\*まで、とても大事にされているのです。全国のコーヒー会社や珈琲店を回りながら、コーヒーへの多くの情熱に感動してきましたが、河内山社長は感銘を受けた珈琲人のお一人でした。

カフェグッズが長くお取引をいただいているダイヤモンドデパート社の、「d design travel 山口」(2013 年発行)に掲載・紹介されたコーヒーボーイ (COFFEEBOY nagisa) のレビューは、その感銘が本物だったことを教えてくれました。徳山コーヒーボーイは、コーヒー文化を、地方文化を、地域・住民文化を支える存在でもあったのです。

今回の第二夜の最後に、MIKKO の「街角のコーヒーボーイ」を取り上げたのも、こうした取り組みがコーヒー文化に望まれる一つの姿と考えたからです。そして私が思う「カフェグッズ音楽室」の存在理由もここにあります。この曲は単なる

コマーシャル・ソングではなく、珈琲店とアーティストのコラボ作品として一つの可能性を示しているような気がします。

MIKKO URL [MIKKO OFFICIAL WEBSITE \(mikko93.jp\)](http://mikko93.jp)

(CD & GOODS には、コラボのドリップバッグもあります。)

\*お魚さん・・・河内山社長から毎年いただく年賀状はワールドワイドです。国内各地の海や河川や湖沼、北米や南米にも出かけるフィッシングジャーニーは、コーヒーへの愛情に勝るとも劣らない。今の珈琲人に最も大切なものは自然への憧憬だと思うのですが、自然を慈しむ姿勢に励まされています。今年の賀状はシーカヤック（萩の海）か、と思いながらよく見ると竿が2本にタモ網。やはりお魚さんだ。確か去年の賀状は緑美しい溪谷（近所の川）でしたが、フィールドも広い。

今回の楽曲一覧です → [https://www.cafegoods.com/musiclist/02\\_musiclist\\_06.pdf](https://www.cafegoods.com/musiclist/02_musiclist_06.pdf)

前夜となる「コーヒーを謳う」でも書きましたが、アーティスト名・作詞者名・作曲者名の敬称は省かせていただきました。失礼をお詫び申し上げます。

また、記載した情報は Wikipedia や YouTube チャンネルの他、各アーティスト・音楽事務所・関連会社のホームページなどを参考にさせていただきました。改めて各位に御礼申し上げます。

APPLE MUSIC にプレイリストがあります。よろしければご鑑賞ください。“喫茶店 其貳” で検索いただければ、美男のベートーベンがお待ちしております。

何らかの原因でアクセスできない際はご容赦ください。

尚、ご意見やご指摘などがありましたら、右のメールまでお願いします。➡ [ongakushitsu@cafegoods.com](mailto:ongakushitsu@cafegoods.com)

© 2022.03 Cafegoods co.,ltd. 小林 文夫